

# 三海二山 中国・四国

デジタルの知と匠の技

28

宮奥エンジニアリング



宮奥 社長

宮奥エンジニアリングは、独自開発した新形状の歯車「コルナックス歯車」の拡販に力を入れている。インポリユート曲線で歯形を構成したインポリユート歯車より静音性、耐摩耗性などに優れる。「総合的に潜在能力の高い歯車」と宮奥勉社長は自信を見せる。

コルナックス歯車は滑らかに膨らんだ山形の歯を持つ。凹凸のかみ合わせがよく、数値が高いと

低トルク時 高い静音性

## 独自形状歯車 拡販に力



「コルナックス歯車」の量産化を目指す

▲.....調査した特許は800件以上に上る。現在、自動車

損傷を受けやすくなる滑り率はインポリユート歯車の約8分の1。インポリユートはかみ合わせ部にたまった潤滑油の圧縮・開放が騒音の原因になるが、コルナックス歯車は油がたまらず、低トルク時に2〜3割程度騒音が抑えられる。

広島県立総合技術研究所東部工業技術センターの協力を得て開発した。種々の歯形を調べ「産業用で実用化されていない形を選んだ」（宮奥社長）。

や農機具、減速機などで採用に向け実証試験中。9月には三菱UFJ技術育成財団の研究開発補助金の対象にも選ばれた。「2年以内に量産製品での採用を目指す」と宮奥社長は意気込む。

▽所在地 広島県府中市、0847-61-3739▽社長 宮奥勉氏▽URL cornux-gea.com▽営業品目 船舶機設計、コルナックス歯車の開発、歯車設計・解析ソフトの開発（隔週水曜日掲載）